

国東市学校・園教育環境整備計画を策定しました



▲今年4月に開校した国東中学校

国東市教育委員会は、国東市学校教育審議会の答申に基づき、児童生徒のよりよい教育環境の整備と教育の質のさらなる充実を目的とした学校の適正規模及び適正配置を推進するため、本年3月30日に「国東市学校・園教育環境整備計画」を策定しました。

国東市学校教育審議会の答申

国東市教育委員会は、平成20年2月21日国東市学校教育審議会に対し国東市長期学校教育環境整備について諮問しました。その答申を昨年12月22日にいただき、市報2月号に掲載したところです。

国東市学校教育審議会では、「小学校の適正規模は、教育活動、児童の指導上、学校運営上などの観点から、児童の教育環境を更に向上させていくために、複式学級のない最低1学年1学級以上を構成できる学校規模が望ましい。」という基本姿勢に立ち次のような答申が出されました。

①小学校全校児童数50名を割り込む学校については統合の検討を開始し、複式学級の解消を図るものとする。

②小学校全校児童数30名程度の学

校については児童間の切磋琢磨ができる教育環境が困難となるため、積極的に統合を図るものとする。

①の50名について、国の複式学級の設置基準によれば、隣接する2学級の児童数合計が16名以内のとき複式学級の検討をしなければなりません。したがって1学年平均8名以下になった時、複式学級設置の可能性が大きくなり、その時の全校児童数は48名前後と考えられ、実際、国東市内の小学校も全校児童数50名前後から複式学級を抱えています。

また②の30名については、全校児童数30名程度の小学校では、1学年平均5名以下となり、複式学級が2学級でき、男女のバランスも不均衡になり易く、望ましい教育環境とはいえません。

現在、国東市の幼稚園、小学